

沖縄高専 だより

Okinawa National College of Technology

創刊号

国立 沖縄工業高等専門学校

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL 0980-55-4003(代表)

FAX 0980-55-4012

H P <http://www.okinawa-ct.ac.jp/>



◆◆◆ 沖縄高専だより創刊号目次 ◆◆◆

・ 目 次	1	クラブ紹介	12
・ 校長あいさつ	2	・ 寮生会だより	
・ 主事あいさつ	3	寮生会長あいさつ	13
・ 後援会会長あいさつ	5	新入生歓迎球技大会	13
・ 事務部(事務室)から	5	・ 学生寮夕涼み会	14
・ 地域連携推進室長あいさつ	6	・ 学生相談室だより	15
・ 学科長あいさつ	7	・ オープンキャンパス2005	16
・ 学生会だより		・ 平成17年度行事予定表	18
学生会長あいさつ	12	・ 産学連携協力会会員名簿	20



校長あいさつ

沖縄高専だより — 創刊号に寄せて

校長 糸村 昌 祐

名護市辺野古の丘に新設された沖縄工業高等専門学校（沖縄高専）の校舎に、1期生を迎えたのがつい昨日のようですが、今春には2期生を迎えました。中学卒業者を受け入れ、5年一貫教育で創造的実践技術者を育成する教育機関として、中学生諸君・ご父母、沖縄県および産業界の大きな期待とともに誕生した沖縄高専ではありますが、産業界の方々からは、「卒業まで5年かかるのですか、待ち遠しいですね」と、よく言われました。しかし、1期生の諸君に「初心忘るべからず」とお話ししてから、1年半があっという間に経ってしまったことを思うと、第1回卒業式もすぐやってくるのではないかと思います。

本校は、「人々に信頼され、開拓精神あふれる技術者の育成により、社会の発展に寄与する」ことを教育理念としています。

工業高等専門学校として、創造的実践技術者の育成を求められていますが、技術者として信頼されるとともに、人間としても信頼されねばなりません。そのため、

- (1) 個性と能力を伸長させるとともに、自立の精神、主体的な態度、幅広い豊かな教養を身につけさせ、国際社会の一員としての人間形成を促す。
- (2) 技術の進展や産業構造の変革など今後の社会の変化に柔軟に対応できるよう、専門知識と技術の習得のほか、自己学習能力をはじめ技術者に必要な各種の基礎能力の開発と伸長に重点を置く。

という二つの教育方針を掲げています。これらの教育方針・教育理念どおりに本校の教職員が学生諸君の能力を伸長させたかは、1期生を受け入れてくださる社会（産業界や進学先）や保護者の方々、並びに学生諸君自身の評価に待たねばなりません。

今回、本校の情報発信誌として「沖縄高専だより」を創刊する運びとなりました。経済産業界あるいは保護者の方々のご期待に添えるよう教職員一同努力して参りますので、学生諸君の成長と沖縄高専の今後を見守ってくださるようお願い申し上げます。



総務主事あいさつ

沖縄高専の将来計画について

副校長(総務主事) 真鍋 幸男

「高専だより」創刊にあたり、本校の活動をよりよく理解していただくため、本校の将来計画とその準備状況についてご説明いたします。当面の主要計画としては以下の3項目があり、大学とは異なる高度専門教育機関として、教育研究内容の更なる高度化、学生の技術力確保、学校活動全体の水準向上などを目指しています。

1. 専攻科の設置準備について

専攻科は本科5年修了後に、2年間のより高度な専門技術と研究能力を育成する課程であり、本校では1期生の卒業に合わせ平成21年4月の開設に向けて準備を進めています。専攻科修了後、大学評価・学位授与機構の審査に合格すれば大学卒業と同じ「学士」の資格が得られます。また、専門技術力・実践力・創造性等では「学士」以上のレベル到達を目指しており、多くの学生が応募する事を期待しています。

2. 日本技術者教育認定(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education)受審について

JABEEは大学・高専など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているか否かを、外部機関が公平に評価・認定するものです。高専では主として4、5年次と専攻科課程が認定の対象となり、現在多くの高専が受審しつつあります。本校では専攻科1期生の卒業する平成23年の秋に受審予定としています。

3. 点検・評価について

これは本校自身が教育研究、学生支援、施設・設備、管理運営などについて毎年自己点検するとともに、定期的に地域の有識者や大学評価・学位授与機構等の外部評価を受け、前述の全ての領域で高等教育機関としてふさわしい水準を確保し、より良い教育研究を目指すものです。



教務主事あいさつ

教務主事 望月 謙二

「なんくるないさー」、沖縄に来て最初に覚えた「うちなあくち」である。癒しの島沖縄に28年ぶりに設立された国立高専、京都の高等学校から転任してきたのは2年半程前だった。当時の辺野古905番地にはまだ造成中の箇所もあり、私達は名護市街地のNTTビルに仮住まいして仕事をしていた。そして今、やんばるの森だった場所には壮大な施設が整い、沖縄高専は、全国に類を見ないほどの充実した設備を持つ高等専門学校として、開校二年目を迎えている。

そんな沖縄高専で教員をしていると、設備以外にも驚かされるものが幾つかある。例えばその一つが、他校には無い「静けさ」である。2期生までの約330人しか在籍していないからではない。学生に活気が無いからでもない。沖縄高専特有の「静けさ」、それは、始業や終業を知らせるチャイムがないことに由来している。いやチャイムだけではない。ここでは、緊急時以外の放送も全く聞こえてこないのである。開校以来1年半、今では当たり前のように感じてしまっているこの「静けさ」が意味するものはなんだろう。答えは、学生達の心の持ち様を想像する事で明らかになるようだ。この不思議な「静けさ」を継続させるためには、在籍する学生達の優れた自覚が必要となる。今何をなすべきかを自分で判断し、行動することができる自立した人間の集団こそが創り得るもの、それがこの「静けさ」ではないだろうか。沖縄高専における「静けさ」の意味するもの、それは、学生達の優れた人間性なのかもしれない。そんな学生達に囲まれて、癒しの島沖縄での私の研究と教育は、2年半を超えようとしている。「なんくるないさー」を合言葉にしながら。



学生主事あいさつ

学生主事 新 川 智 清

学生主事は学生委員会の委員長を務め、その主な所掌事項は学生の課外活動・生活指導・学生会に関することなどです。

去年の4月に一期生を迎えた沖縄高専は、体育施設等のハード面はかなり充実しています。一方、学生の活動基盤となる規則等のソフト面は全てゼロからの出発でした。クラブ活動は学生の希望を最大限に叶え、体育系11クラブと文化系3クラブの他に3つの同好会を立ち上げました。今年度から一部の対外試合への参加が可能になり、目標を持って教職員とともに活発な課外活動を行っています。

生活指導に関しては、去年の高専祭を見事な団結力で成功させ、挨拶等のすばらしい校風を築いてくれた一期生が今後も学校生活全般において模範を示してくれることを期待します。学生会役員は、現在、選挙で選ばれた会長、副会長の3名でその責務をこなしています。早急に学生会の体制を整え、学生の活発な自治活動を促したいと思います。

学生委員会は、沖縄高専の一人ひとりの学生が健康で豊かな学生生活が過ごせるように、学生と教職員の協力を得て学生を取り巻く環境の更なる整備充実を図ります。



寮務主事あいさつ

寮務主事 濱 田 泰 輔

昨年4月の開校および1期生入学に続き、今年4月新たに2期生が入学しました。学生寮も2年目を迎え、1年生と2年生が入寮しています。本校では学生寮での生活も沖縄工業高等専門学校の重要な教育の一部としてとらえています。そのため1年生と2年生は全寮制とし、3年生からは希望制にしています。そういった教育寮としての本校の学生寮で規律ある共同生活を通して自分の責任で行動し、社会性と生活力を身に付けるとともに、互いに助け合い、尊重し合い生涯の友情を育んで欲しいと思います。

学生寮もようやく2年目です。寮生活に関することは、2年生、1年生と教職員が一緒になって考え、決めていかななくてはなりません。より良い学生寮を作るという自覚と責任を持って寮生活を送って欲しいと思います。また、全寮生からなる寮生会ができ、選挙により選ばれた寮生会長、副会長を中心とし、5つの委員会を各委員会を立ち上げました。生活、環境美化、保健衛生、防災・安全、企画広報の分野に関して多くの寮生が議論し実行して活発に、寮の管理運営に携わっています。これら委員会活動のみならず、ボランティアとしても多くの寮生が寮の管理運営のために活動してくれています。自分たちの寮を自分たちで作る姿勢に頼もしさを感じています。



後援会会長あいさつ 沖縄高専だよりの発刊に寄せて

沖縄工業高等専門学校後援会会長 喜納 隆

沖縄高専だよりの創刊号発刊にあたり、後援会を代表しましてご挨拶申し上げます。

沖縄高専は、沖縄県の北部“名護市”の辺野古地区に位置し、緑豊かで勉学に打ち込める環境に有り、開校2年目で約400名(学生及び教職員)の方が集まって沖縄県工業振興育成のために日夜努力され、基礎学習に励んでおります。これからも新しい道を切り開き、自らが開拓者として、いろいろな面に活躍され沖縄高専の名をあげ努力されていくものと期待をしております。

そのためにも、私達後援会も陰ながらバックアップし、学生に対する支援、学校への協力を惜しみなくしていく所存であります。それには、保護者の皆様全員が入会され協力されるようお願いいたします。

学生は、県内外の優秀な方が集まっており、昨年は1年生のみながら、「ロボットコンテスト九州大会」への初出場もはたし、全国の高専生と引けをとらない堂々とした態度で挑み、特別賞を受賞するといった素晴らしい成績を残しました。今年も大いに期待したいものです。

在校生のみなさんには、この恵まれた環境と素晴らしい学びの場を十分に活用し、社会人としての基礎知識を蓄え、これからの沖縄、あるいは世界を築いていってほしいと願っております。

最後に、高専だよりの発刊を祝し、沖縄高専のますますのご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

事務部(事務室)から

沖縄高専の開校に向け、教職員が一丸となって職務にあたり、平成16年4月、無事第一期生を迎える事ができました。

それまでの間、何もかもが手探り状態からのスタートでしたが、教職員の頑張りはもちろん、政府を始め、地元公共団体、産業界等々多くの皆様方の応援があったからこそこの開校であり、改めて各位にお礼を申し上げる次第であります。

事務部は、学校の一番のユーザーである学生に対する教育(これに関連した教員の研究活動)や課外活動、寮生活等の学生生活に関し学校運営全般の事務を担当しています。更に、二番目のユーザーである産業界や公共団体との連携についても積極的に関わっていきたいと思っております。

開校してから約1年半が経とうとしています。まだまだ至らない点が多々あると思いますが、叱咤・激励をいただけたらありがたく存じます。

また、教育活動、寮生活、クラブ活動等、本校における学生生活を更に充実するためには各方面からのご支援が是非とも必要となっております。

このことから、県内産業界においては、(社)沖縄県工業連合会が中心となりまして平成16年4月に沖縄工業高等専門学校産学連携協力会を設立していただき、また、平成16年10月には、本校在学生の保護者の方を中心として沖縄工業高等専門学校後援会が設立され、本年4月より産学連携協力会事務局とともに後援会事務局を本校内に置いたところであります。

沖縄県民の強い要望により設置が実現した沖縄高専でありますので、皆様方の積極的なご支援をお願いするものであります。

なお、本校事務部は庶務課、会計課、学生課の三課体制となっており、連絡先等は次の通りとなっています。

一般的なご質問や産学連携について.....	庶務課	0980-55-4003
物品の納入や施設の維持管理等について.....	会計課	0980-55-4014
入試や学生生活全般に関すること.....	学生課	0980-55-4028



地域連携推進室長あいさつ

地域連携推進室について

地域連携推進室長 高 野 良

高専の役割には学生諸君の教育の他、外部機関と共同による研究、本校内での教育・研究の成果に根ざした社会への貢献があります。これを受け、地域連携推進室では本校での教育・研究の成果を地域に発信し、地域・産業界のニーズを受けて地域、公共機関等と共に今日の科学技術の進歩に対応した共同研究・開発、技術相談・指導（共同研究、受託研究、技術指導など）、地域の方々を対象とした科学技術の啓蒙などの活動（公開講座、学校開放事業、出前授業、技術講習会など）を統括して推進し、地域と地域産業の活性化を目指します。本年度より地域連携推進室の運営委員会（6名構成）が正式に発足し、同室の活動がいよいよ本格的になることとなりました。

5年制の学校として、実質的に開校してからまだ2年しか経っておらず、本校が学生数・教職員数、設備・施設等の点で完全な完成形になるまで、しばらく過渡的な状況が続くこととなりますが、設立準備段階よりすでに共同研究・技術指導を開始しており、その状況は、以下のとおりです。

平成15年度：技術指導 1件

平成16年度：共同研究 1件、技術指導 1件

平成17年度：共同研究 2件、技術指導 1件、経済産業省産学連携製造中核人材育成事業（実践的高度溶接技術者の育成）1件

その他にも、現在立ち上がりつつある共同研究等のプロジェクトが数件予定されています。また公開講座に類する講座・講習会等も現在2・3件開催予定です。今後学年進行による教職員数の充足、施設・設備等の整備に応じ、これらの事業をさらに拡張・充実し、地域との連携をさらに深めたいと考えています。

学科長あいさつ

機械システム工学科学科長

眞喜志

隆

高専便りの創刊にあたり、学科の紹介をさせていただきます。機械システム工学は、個々の「機械」を「システム」として組合せ、様々な製品を生産するための「工学」的な手法を教育・研究し、モノづくりのできる技術者を育成することを目的としています。専門の教育分野は、教育効果を高めるため、大きく「材料システム」、「設計システム」、「システム制御」の3分野に分けています。それぞれの分野では、「どのような材料を選ぶべきか」、「どのように加工すべきか」、「コンピュータを利用した効率的な加工法はどのようなものか」、「要求される強度・機能・性能を満たすためにはどのような設計が必要か」、「どのようにして動かせば最も高い性能を発揮できるのか」等について、第1学年の基礎的な内容から、第5学年での高度な応用まで、段階的に学習していきます。これらの教育に利用する設備も、レーザー加工機・マシニングセンタ・大規模CAD・CAM・CAE等、全国的にあまり例が見られないほど充実しています。現在の教職員は、教員5名・実習工場（夢工場と言います）技術専門職員2名・学科技術職員2名で、講義・実習を担当しています。平成20年度には、全教員が揃い、14名となります。現在の学生数は、第2学年42名・第1学年41名です。開学間もない状態もあり、教職員と学生で学校を創りながら日々歩んでおります。今後、大学の3・4年にあたる専攻科の設置・外部審査や技術者認定機構（J A B E E）受審に向けて新たな取り組みもスタートします。よりよい高専・学科を創るべく教職員一同努力していきたいと思っております。

教員氏名	担当科目	専門分野	学校運営・担任
真鍋 幸男 (まなべ ゆきお)	材料加工システム(1, 2年), 沖縄高専セミナー	溶接工学	副校長・総務主事
松栄 準治 (まつえ じゅんじ)	機械設計基礎学(1, 2年) 材料加工システム(1年)	熱機関工学	
眞喜志 隆 (まきし たかし)	機械材料, 材料加工システム(1, 2年), 創造演習	表面改質	学生相談室室長 学科長
比嘉 吉一 (ひが よしかず)	材料力学設計, プログラミングI, 創造演習, 沖縄高専セミナー	計算固体力学	
松田 昇一 (まつだ しょういち)	材料加工システム(2年), 沖縄高専セミナー, 創造演習	熱力学	1年1組副担任

情報通信システム工学科学科長 高 木 茂

コンピュータ、インターネット、携帯電話などの急速な進歩、普及は社会に大きな影響を与えてあらゆる産業の基本技術と言っても過言ではありません、このため、情報処理技術者が広く求められています。本学科では大きくわけて3つのことを学びます。情報処理技術の基礎、通信技術の基礎、及び応用システムです。

- (1) の情報処理技術の基礎ではコンピュータの仕組み、集積回路の設計技術、コンピュータを使って問題を解くプログラミング技術を学びます。
- (2) 通信技術の基礎では、ブロードバンド時代の通信の仕組み、信号処理やセキュリティなどネットワークの基礎技術、および、ネットワークを通して画像、音、位置など様々な情報を集め、判断し、リモートコントロールする方法を学びます。
- (3) これら基礎技術を土台に、コンピュータの応用では様々な分野、例えば自然現象、物体の動き、生物等をシミュレーションするシステム、電気製品やロボットを制御するシステム、人工知能、ゲーム、アニメなどの知的応用システム、の作成にチャレンジします。

ここではプログラムやハードウェアを試作します。また、他の分野の人との協力関係も重要となります。

専門科目の授業内容は広くまた深いものとなっています。聞いたことのない言葉や概念がたくさん出てきて難しいと感じるかもしれません。それは、新しいことを習うときに、常に遭遇することです。このような場面では心構えが最も重要です。素直な心を持ち、新しいことに興味を持ち、怠けず、あせらず、おごらず、あきらめず、逃げず、一步一步をおろそかにせずに進むことです。常に進歩したいと思って下さい。そうすれば、いつか、だれにも負けない知識、技術が身に付きます。

本学科の授業内容を身につければ、情報通信機器の設計開発や製造、プログラム開発、通信ネットワークシステムの開発や運用など、様々な分野、企業で存分に活躍できるようになります。

教員氏名	担当科目	専門分野	学校運営・担任
鈴木龍司 (すずき りゅうじ)	計算機工学 (1年, 2年) 情報通信工学実験 (1年) 沖縄高専セミナー 創造演習	ヒューマンインタフェース	情報処理センター長 施設委員会委員長
高木 茂 (たかぎ しげる)	プログラミングⅠ,Ⅱ 創造演習	プログラム開発, アルゴリズム	学科長 広報委員会委員長
知念幸勇 (ちねん こうゆう)	電気回路Ⅰ 創造演習	光通信用送受信モジュール 化合物半導体デバイス 光・高周波デバイス	
野口健太郎 (のぐち けんたろう)	情報通信工学実験 (2年)	ディジタル信号処理計測工学	
野崎 真也 (のざき しんや)	情報通信工学実験 (1年, 2年) 沖縄高専セミナー	画像処理, 放射線画像計測	1年4組副担任

メディア情報工学科学科長 正 木 忠 勝

インターネットの発達とブロードバンドの急速な普及によって、パソコンは文書作成だけではなく、音楽や映像を総合的に取り扱うことが可能になり、家庭内ではA/V機器の中心的な役割を担うように変化してきました。メディア情報工学科は、インターネット時代の実践的技術者を育成するためにコンピュータの基本的技術であるデジタル回路技術とプログラミング技術を基礎にして、コンピュータネットワーク技術、情報セキュリティ技術、メディアコンテンツ制作技術、コンピュータグラフィックス技術など、IT技術の先進的な教育を目的とした情報系の学科です。

現在、1年生に対して「情報技術の基礎」「沖縄高専セミナー」「プログラミングⅠ」「メディアコンテンツ基礎」の4科目が、2年生に対しては「メディア情報工学実験Ⅰ」「コンピュータアーキテクチャ」「プログラミングⅡ」「プログラミングⅢ」「創造演習」の5科目を開講し、5名の教員が1年生、2年生あわせて84名の学生に専門科目の授業を担当しています。

学科には最新のパソコンを50台設置した演習室や他の教育機関ではほとんど例のないハイビジョンスタジオなど最先端の教育にふさわしい設備が整っています。さらに、今年度中にはCGワークステーションを備えた演習室、ネットワーク技術専用の演習室を整備するとともに、来年度には教授2名と助教授1名の計3名が新たに着任する予定となっています。

まだまだ完成途中の学科ではありますが、教員一同協力して、学生のために最も良い教育を目指して努力していく所存です。

教員氏名	担当科目	専門分野	学校運営・担任
正木 忠勝 (まさき ただかつ)	プログラミング コンピュータアーキテクチャ	組み込みシステム リアルタイムOS	学科長
角田 正豊 (すみだ まさとよ)	沖縄高専セミナー	コンピュータネットワーク	1年2組担任 図書館長
西村 篤 (にしむら あつし)	メディアコンテンツ基礎 メディア情報工学実験	メディアコンテンツ	1年3組副担任
伊波 靖 (いは やすし)	情報技術の基礎	情報セキュリティ	
奥田 篤士 (おくだ あつし)	プログラミング メディアコンテンツ基礎 メディア情報工学実験	コンピュータグラフィックス	1年2組副担任

生物資源工学科学科長 平 山 け い

生物資源工学科では、現在、1期生44名、2期生43名が、6名の教員とともに次代の生物資源工学産業を担うべく日夜勉強に励んでいます。『生物資源工学科って一体何を学ぶところ?』『どんな授業があるのだろうか?』と思われる方もいらっしゃるかも知れません。今回は2つの専門科目を紹介し、本学科で習得する技術や知識の概要をお伝えします。

《生物資源工学セミナー》

1年生で学ぶ生物資源工学セミナーは、5年間で学ぶ全ての専門科目の基礎知識や基礎技術を習得するためのイントロダクション的な授業です。授業の80パーセントが実験で構成され、実験することの楽しさを1年生から存分に味わいます。主な授業内容は、中和滴定、細胞分裂の観察、バイオエネルギー、太陽光エネルギー、蛍光遺伝子の組み換え、空気中の微生物の培養と同定、DNAの抽出、アルコール発酵、簡易型バイオリアクターなど多岐にわたります。これらの実験を通して、実験の基礎的知識・技術はもちろんのこと、自ら学ぶ姿勢、考察する力を徹底的に身に着けます。

《創造演習》

2年生で学ぶ創造演習は、グループでもの作りを目指す学生主体の授業です。今年度のテーマは「廃棄パインナップルからの繊維を利用した赤土流出の防御」、[サトウキビによる生分解性プラスチックの作製]、[ゴーヤーの葉を利用した入浴剤]、[沖縄特産の作物からの天然酵母を利用したパン作り]、[福木の実を用いた虫寄せ剤]、[オニヒトデの毒を利用した防カビ剤]、[ハダニの天敵のダニを利用した農作物への被害の防御]、[パパイアのタンパク質分解酵素を用いた焼肉のたれ作り]などです。

二つの授業の紹介から本学科の学習内容を多少理解していただけたのではないかと思います。

※まだ2学年のみの学科ですが、より高い目標を目指し、学生も教員も一丸となって取り組んでいます。どうぞ、温かい御支援をいただけますようお願い致します。

教員氏名	担当科目	専門分野	学校運営・担任
平山 けい (ひらやま けい)	生物, 生物資源工学セミナー, 創造演習	細胞生物学, 遺伝子工学, 神経科学	2年4組 担任 学科長
高野 良 (たかの りょう)	化学, 沖縄高専セミナー, 有機物理化学	有機化学, 生物化学	地域連携推進室長
濱田泰輔 (はまだ たいすけ)	化学, 沖縄高専セミナー, 有機物理化学	光化学, 物理化学	寮務主事
三枝 隆裕 (みつえ たかひろ)	生物, 沖縄高専セミナー	微生物学	
玉城 康智 (たまき やすとも)	微生物学, 生物分析化学, 創造演習	発酵・醸造学, 微生物学	
多田 千佳 (ただ ちか)	生物資源工学セミナー, 創造演習	環境学	2年2組 副担任

総合科学科学科長 小池 寿 俊

沖縄高専の授業は一般科目と専門科目に大別され、一般科目は国語、英語、社会科学、数学、自然科学、健康科学の6分野の必修科目と外国語を中心とした選択科目からなります。これらの一般科目の授業を主に担当しているのが総合科学科です。総合科学科では一般科目を通して、専門学科に共通な学問の基礎と社会人として必要な知識や教養とを養います。そのため一般科目は4つの専門学科共通の授業として低学年(1-3年)に多く配当されています。

一般科目において、英語では確固たる基礎力を養うためSSS(Start with Simple Stories)英語学習法に基づく多読・多聴というユニークな授業を行っています。国語では、自らの考えを表現できる力や今後の技術者に必須のコミュニケーション能力を育成します。専門科目の直接的な基礎となる自然科学や数学の授業では、理論のみを追及するだけでなく応用力も育成します。数学の授業時間数は多く進度も速いので、3年までで通常の大学1年程度までの内容を終えます。

その性格上、総合科学科にはさまざまな専門分野の教員が集まっています。現在は12名の教員が在籍しており、高専完成年度の平成20年度には教員数は17名となる予定です。総合科学科の教員は全学科の低学年の学生と接することが多く、本年度も1,2年生の学級担任のほとんどは総合科学科の教員です。保護者の皆さんと接する機会も多いものと思われます。今後ともどうかよろしく願いいたします。

教員氏名	担当科目	専門分野	学校運営・担任
小池 寿俊 (こいけ かずとし)	基礎数学Ⅱ	数学(環論)	1年1組担任 学科長
新川 智清 (あらかわ ともきよ)	英語, TOEIC(実用英語)	言語学	学生主事
望月 謙二 (もちづき けんじ)	国語Ⅰ	国語科教育, 近現代文学	教務主事
青木 久美 (あおき くみ)	英語, TOEIC(実用英語)	宗教哲学	1年3組担任
澤井 万七美 (さわい まなみ)	国語Ⅰ	演劇学	2年1組副担任
下郡 剛 (しもごおり たけし)	社会科学Ⅰ	日本中世史	2年4組副担任
知念 直紹 (ちねん なおつぐ)	基礎数学Ⅰ, 微積分Ⅰ	数学(トポロジー)	2年2組担任
森田 正亮 (もりた まさあき)	物理	宇宙物理学	2年3組担任
ジョンソン・キャティー (JOHNSON KATHY)	英語, TOEIC(実用英語)	英語教育, オンライン・ティーチング (e-ラーニング教育)	
永澤 健 (ながさわ たけし)	スポーツ実技Ⅰ	スポーツ医学, 公衆衛生学	1年4組担任
古屋 淳 (ふるや じゅん)	微積分Ⅰ	数学(整数論)	2年3組副担任
山本 寛 (やまもと ひろし)	基礎数学Ⅱ, 線形代数	数学(複素解析学)	2年1組担任

学生会だより

学生会長あいさつ

たい 平 ら 良 ゆう 祐 た 太

こんにちは。沖縄高専第一期学生会長の平良祐太と申します。みなさんをご承知の事と思いますが、沖縄高専は開校してまだ二年しか経過していません。ですから、各組織が未だ形成されておらず、「これから」という状態です。しっかり各委員会を取り決めて組織図を作っていきたいと思っています。現在は会長1名・副会長2名の計3名でがんばっています。また、学生の意見を取り入れ、学生生活に反映させていきたいです。

クラブ紹介

クラブ	吹奏楽	陸上競技	バトミントン
	水泳	弓道	Art and Literature
	男子バスケット	野球	総合美術
	女子バスケット	アメリカンフットボール	卓球
	サッカー	ダンス	軽音楽
	男子テニス	男子バレーボール	ハンドボール
	女子テニス(硬式・軟式)	女子バレーボール	科学
同好会	囲碁同好会	合唱同好会	

沖縄高専には、クラブと同好会を合わせて23団体があります。
 クラブは21団体で、そのうち体育系クラブは16団体、文化系クラブは5団体です。
 同好会には2団体があります。今年度に入り、学生たちによって新しく作られた団体もあります。
 クラブ&同好会では、学年の枠を超えて、学生が放課後時間を意欲的に過ごしています。



野球部公式戦



吹奏楽部の活動

寮生会だより

寮生会長あいさつ

みやぎもと
宮城基

こんにちは、寮生会長の宮城基です。

寮生会は主に5つの委員会と私たち寮生会長と副会長で構成された執行委員で活動しており、寮生全員がスムーズに寮生活を過ごせるよう日々、努力を重ねています。

今年度寮生会で行った大きなイベントとしては、新入生歓迎球技大会と夕涼み会がありました。球技大会ではフットサルとバレーの二つに分かれて行い、各チーム1年生と2年生が混じったチーム編成で、各チームみんなが協力して優勝を狙いました。

夕涼み会ではみんなに選んでもらった姫と殿の発表、主張(スピーチ大会)、カラオケ大会などで盛り上がり、今回初登場の合唱同好会の皆さんにクライマックスを任せ、和んだ気持ちで会は無事終了しました。

私たちは今年の1月から活動を開始し、上記のような大きなイベントのほかに部活動単位による入浴時間の調整、リネン類の交換、月に一度の大掃除など寮生活を活性化させてきました。まだまだ課題はたくさんあるので、最近になって設置された意見箱を使い寮生の意見を聞き、寮生会、寮生活を更に活性化させていきたいです。

新入生歓迎球技大会

学生寮の生活が始まってまだ間もない新入生のために寮生会が主催して、5/25(水)に新入生歓迎球技意義大会が行われました。フットサルとバレーボールの2種目に分かれて競技を行いました。このイベントで先輩と後輩の親睦を深めることができました。



学生寮夕涼み会

7/6(水)に『学生寮夕涼み会』が行なわれました。寮生会が何日も前から主体的に計画や準備を行ないました。バンド演奏やスピーチ大会など、さまざまな催しが行なわれました。ゆかたを着て参加した寮生も多く、より雰囲気が盛り上がりました。放課後という短い期間の開催となりましたが、寮生会の活躍により、非常に楽しくてスムーズに会を進めることができました。



プログラム

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 吹奏楽部による演奏 | 6. 姫と殿の再登場 |
| 2. 司会のあいさつ | 7. カラオケ |
| 3. 姫と殿の発表 | 8. 寮務主事のあいさつ |
| 4. 男子バンドによる演奏 | 9. 合唱同好会による合唱 |
| 5. 主 張 | 10. 終わりのあいさつ |



学生相談室だより

学生相談室室長 眞喜志 隆

学生相談室の主な目的は、学生の悩みや心配事、将来の進路等の日常的な問題解決の手助けをすることです。本学では、開学の平成16年から学生相談室が設置され、手探り状態ながら相談業務を行い、相談体制の整備充実を図ってきています。

高専の学生は、16歳から20歳という、人生の中で最も多感な時期にあたり、人生の悩みも一番多い時期でもあります。加えて、本校での第1・第2学年の全寮制から来る生活環境の変化や、中学校や普通高校とは大きく異なる学習カリキュラム等から来る悩みも少なくありません。メンタルな悩み・体の不調は、自分一人で悩まずに誰かに相談すれば、解決の糸口が見えたり、対処する方法が見つかるものです。学生相談室は、学生生活の相談事、話を聞き、一人一人が充実した学生生活を送れるようにサポートしていくところです。相談内容は、勉強について、進路について、健康について、対人関係について、家族についてなど、内容は問いません。話の内容については秘密を守ります。

現在、相談室は、保健室と協力体制を敷き、非常勤カウンセラー1名(臨床心理士1名)・相談員は室長を含め6名・看護師1名で学生相談業務を行っています。現状では、教員側の体制が十分ではないため、保健室にインテーカー(相談受付)役を引き受けていただく形で運営しています。将来的には、相談室の毎日開設や常時開放・学生支援センターへの拡充も視野に入れ、学生支援に取り組んでいこうと考えております。



学生相談室のご案内

学生相談室は、皆さんの悩み事、話をお聞きます。
一人一人が充実した学生生活を送れるようにサポートしていくところです。

相談内容は？

勉強について、進路について、健康について、対人関係について、家族についてなど内容は問いません。話の内容については、秘密を守ります。

相談室の利用方法

保健室が窓口になっています。看護師に声をかけてください。必要に応じて先生を紹介します。直接、先生を訪ねても構いません。

場所：メディア棟2階(相談室)

先生の紹介

カウンセラー

島袋有子先生 毎週木曜日 時間 14:00~18:00



学 校 医

山城章裕先生 毎月第4木曜日(第3木曜日になることもあり)
時間 15:00~17:00



○カウンセラーは祝日・夏季・冬季・春季休業中はお休みです。

沖縄高専学生相談室

オープンキャンパス2005

真夏の太陽が照り付ける晴天のもと、7/24(日)に『国立沖縄高専オープンキャンパス2005』が行なわれました。これは、来春に受験を控えた中学3年生とその保護者、さらに進学指導をされる中学校教諭のみなさんを対象に、国立沖縄工業高等専門学校の概要説明と沖縄でも最先端の施設・設備の見学、各学科での体験授業・学習を通し、新設校である本学を理解していただくことを目的として企画・開催されたものです。

当日の様子ですが、午前の部より、終日賑わったのは寮生会企画の『学生寮ツアー』でした。午前9時より15分毎に行なわれた学生寮ツアーは、本学在籍生がガイド形式により寮内を紹介しました(写真1, 2)。ツアー参加者は、入学後の1, 2年次に教育寮として過ごす新たな生活スペースのため、学生居室のみならず、各フロアに設置された学習室、補食室、洗濯室のほか、大浴場といった共有スペースの見学に大いに刺激?を受けたのではないのでしょうか。また、受験生とその保護者を対象とした進学相談では、入試制度や学校制度、さらに受験対策に関しても熱心に質問がなされていました。一方、昨年度、新設校にもかかわらず1期生のみで挑戦した『高専ロボコン2004』に関する展示スペースでは、九州予選会で活躍した2機のロボットが展示され、間近で実機の見学が行なわれました(写真3)。なお、本学5学科(総合科学科、機械システム工学科、情報通信システム工学科、メディア情報工学科、生物資源工学科)では、各学科の特色を理解していただけるよう独自の体験コーナー(表1参照)を企画し、それぞれの会場でたくさんの参加者を頂戴しました(写真4~8)。以上の企画では、多くの在籍生が自主的にボランティアとなり、来学者への対応を行なってくれました。大いなる彼らの貢献がこの紙面を通じて読者の方々に伝わることを信じ、敬意を表したいと思います。



学生寮ツアー



学生寮ツアー



ロボットコンテストの紹介



CALL教室

表1 各体験コーナーの内容

所属5学科	内 容				
総合科学科	英米の絵本や児童書を辞書なしで読むことを体験する		CALL教室でコンピューターを用いてゲーム感覚で英語を学習したり, やさしい英語の物語を聴く		
機械システム 工学科	未来型レーザーと ロボットでモノ作 り(レーザー加工 デモ)	賢く万能選手の工 作機械(マシニン グセンター・NCフ ライスデモ・加工 体験)	表面創成で機能 アップ(溶射装 置・加工品展示)	コンピューター で夢を形にする (CAD技術デモ・ 模擬授業体験)	学科で学ぶ技術・ 活躍分野の紹介 (進学相談)
情報通信システム 工学科	月でボールを投げ たらどうなる?	レゴブロック発進!!	音を見よう!!	これって自分の 顔?!	パソコン解体ショー
メディア 情報工学科	実際に映画作りにも使われているコンピュー タグラフィックスソフトでのCG作成実習		ハイビジョンスタジオを見学しよう		学科紹介(学ぶこと, カリキュラム説明)
生物資源工学科	古くなった天ぷら油で 石鹸作りイクラを作ろ う!	あなたが食べているイ クラは本物それともし せものコピー?	光学顕微鏡 ー微生物や細胞分裂を 観察しよう!ー		酸とアルカリー中和滴定ー

なお、本学の駐車スペースの関係から、当日は午前・午後の2部構成とし、さらには事前の参加登録制としたにもかかわらず、休日の猛暑の中、約700名の参加者を賜りました。紙上を借りまして厚く御礼申し上げます。



パソコン解体



スタジオ体験



夢工場見学ツアー



中和滴定のようす

平成17年度行事予定表

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	金	春季休業	1	日		1	水		1	金		1	月		1	木	臨時休業
2	土		2	月	臨時休業	2	木		2	土		2	火		2	金	
3	日		3	火	憲法記念日	3	金		3	日		3	水		3	土	
4	月		4	水	国民の休日	4	土		4	月		4	木		4	日	
5	火	学生寮開寮	5	木	こどもの日	5	日		5	火		5	金		5	月	
6	水	↓開寮式(2年)	6	金		6	月		6	水	学生寮夕涼み会	6	土		6	火	
7	木	2年生健康診断・HR	7	土		7	火		7	木		7	日		7	水	
8	金	2年生授業開始 2年生数学課題 確認テスト(4限)	8	日		8	水	学生寮全体清掃	8	金		8	月		8	木	
9	土	入学式 入寮式	9	月		9	木		9	土		9	火		9	金	
10	日	開校記念日	10	火		10	金		10	日		10	水		10	土	
11	月	1年生健康診断・HR 1年生数学・英語 課題テスト(4限)	11	水		11	土		11	月		11	木		11	日	
12	火	オリエンテーション	12	木		12	日		12	火		12	金		12	月	
13	水	↓新入生合宿研修	13	金		13	月		13	水		13	土		13	火	
14	木		14	土		14	火		14	木		14	日		14	水	
15	金	1年生授業開始	15	日		15	水		15	金		15	月	前期期末試験	15	木	
16	土		16	月		16	木		16	土		16	火		16	金	
17	日		17	火		17	金	前学期中間試験	17	日		17	水		17	土	
18	月		18	水	学生寮全体清掃	18	土		18	月	海の日	18	木		18	日	
19	火		19	木		19	日		19	火		19	金	↓学生寮全体清掃	19	月	敬老の日
20	水	学生寮避難訓練	20	金		20	月		20	水	学生寮全体清掃	20	土	閉寮式	20	火	
21	木	歯科検診 (全学年・午前中)	21	土		21	火		21	木		21	日	閉寮	21	水	
22	金		22	日		22	水	↓	22	金	月曜日の授業	22	月	夏季休業	22	木	
23	土		23	月		23	木	慰霊の日(授業なし)	23	土		23	火		23	金	秋分の日
24	日		24	火		24	金		24	日	オープンキャンパス	24	水		24	土	
25	月		25	水	学生寮・新入生 歓迎球技大会	25	土		25	月		25	木		25	日	
26	火		26	木		26	日		26	火		26	金		26	月	
27	水	産学連携協力会総会	27	金		27	月		27	水		27	土		27	火	
28	木		28	土		28	火		28	木		28	日		28	水	
29	金	みどりの日	29	日		29	水		29	金		29	月		29	木	
30	土		30	月		30	木		30	土		30	火		30	金	
			31	火					31	日		31	水				↓
備考	学生総会		備考	学生寮新入 歓迎レク大会		備考			備考	保護者懇談会 (4日～8日に学年毎実施) 公開授業週間 性に関する講演会 (女子向け・全学向け)		備考	授業料免除申請説明会		備考	地区別学校説明会	

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	土	後学期開始 開寮	1	火		1	日	元旦	1	水	臨時休業 開寮式
2	日	開寮式・部屋替	2	水		2	月		2	木	入学確約書提出 期限・閉寮
3	月	後学期授業開始 1年生数学課題確認 試験(4限)	3	木	文化の日	3	火		3	金	入試合格発表
4	火		4	金		4	水		4	土	
5	水		5	土		5	木		5	日	
6	木		6	日		6	金	臨時休業	6	月	
7	金	2年生数学課題確認 試験(4限)	7	月		7	土	推薦選抜(面接日)	7	火	入学手続日 入学説明会
8	土		8	火		8	日	開寮	8	水	
9	日		9	水		9	月	成人の日 開寮式	9	木	
10	月	体育の日	10	木		10	火		10	金	
11	火		11	金		11	水	推薦判定会議	11	土	建国記念の日
12	水		12	土		12	木	推薦判定結果通知	12	日	
13	木		13	日	ロボットコンテスト 九州・沖縄地区大会	13	火		13	月	
14	金		14	月	臨時休業日	14	水	学生寮全体清掃	14	火	
15	土		15	火	月曜日の授業	15	木		15	水	
16	日		16	水	学生寮全体清掃	16	金		16	木	
17	月		17	木		17	土		17	金	進級判定会議
18	火		18	金		18	日		18	土	
19	水	学生寮全体清掃	19	土		19	月	寮祭	19	日	
20	木		20	日		20	火	推薦願書受付 臨時休業日・閉寮式	20	月	
21	金		21	月		21	水	臨時休業日・閉寮	21	火	後学期期末試験 (予備日1日)
22	土		22	火		22	木	臨時休業日	22	水	学力選抜 判定会議
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	金	天皇誕生日	23	木	
24	月		24	木		24	土		24	金	
25	火		25	金		25	日		25	土	学年末休業
26	水		26	土		26	月	冬季休業	26	日	
27	木		27	日		27	火		27	月	
28	金	体育祭準備日 (授業なし)	28	月		28	水		28	火	学生寮全体清掃
29	土	体育祭	29	火		29	木			水	
30	日		30	水		30	金			木	
31	月	体育祭代休				31	土			金	
備考		プログラミングコンテスト	備考		ロボコン全国大会	備考		高専スポーツ大会 学生会役員選挙 寮学生会役員選挙	備考		授業料免除申請説明会 選択科目受講願締切

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会 会員名簿

《経済団体》

社沖縄県工業連合会
 沖縄県商工会議所連合会
 社沖縄県経営者協会
 沖縄県商工会連合会
 沖縄県中小企業団体中央会
 沖縄県農業協同組合中央会
 社沖縄県建設産業団体連合会
 財沖縄観光コンベンションビューロー
 沖縄経済同友会
 沖縄県情報通信関連産業団体連合会
 沖縄商工会議所
 名護市商工会
 社沖縄県情報産業協会

《一般企業》

株久米島の久米仙
 株沖縄ホームル
 オリオンビール株
 沖縄ハム総合食品株
 オキコ株
 株名護パイナップルワイナリー
 株沖縄発酵化学
 株琉球バイオリソース開発
 株宮平乳業
 (有)ファッションキャンディ
 忠孝酒造株
 株海邦商事
 株沖縄ポッカコーポレーション
 沖縄コカ・コーラボトリング株
 沖縄ペプシビバレッジ株
 (有)なかむら食品
 株仲善
 株西むら
 沖縄県酒造協同組合
 沖縄県酒造組合連合会
 沖縄ヤクルト株
 久米島海洋深層水開発株
 久米養殖株

株お菓子のポルシェ 御菓子御殿
 昭和製紙株
 総合紙器株
 昭和化学工業株
 沖縄樹脂化学工業株
 琉球肥料株
 沖縄電力株
 沖縄瓦斯株
 南西石油株
 株りゅうせき
 株オカノ
 (有)仲里石油商会
 拓南製鐵株
 沖縄ガルバ株
 金秀アルミ工業株
 沖縄鋳鉄工業株
 琉球セメント株
 株技建
 エコインテック株
 沖縄ピーシー株
 沖縄県生コンクリート工業組合
 沖縄県生コンクリート協同組合
 沖縄テクノクリート株
 久米島工業開発株
 株白水堂
 株屋部土建
 株仲本工業
 仲程土建株
 金秀建設株
 株沖電工
 沖縄プラント工業株
 (有)東緑化開発
 株國場組
 (有)環境水処理センター
 株東開発
 沖縄県管工事業協同組合連合会
 株近代美術
 文進印刷株

丸正印刷株
 沖縄県印刷工業組合
 琉球ガラス工芸協業組合
 株ポイントビュール
 西日本電信電話株沖縄支店
 沖縄通信ネットワーク株
 株OCC
 株リウコム
 株国際システム
 名護イーテクノロジー株
 株沖縄環境保全研究所
 琉球放送株
 株琉球銀行
 株沖縄銀行
 株沖縄海邦銀行
 大同火災海上保険株
 沖縄ツーリスト株
 沖縄日通エアカーゴサービス株
 沖縄ビル・メンテナンス株
 株玉城園地 琉球ゴルフ倶楽部
 新中糖産業株
 株光貴
 大扇会
 株ロワジール・ホテルズ沖縄
 沖縄県医療廃棄物事業協同組合
 株オーディフ
 沖縄県卸商業団地協同組合
 株加島事務機
 やんばる物産株
 琉球日産自動車株
 株沖縄県物産公社
 沖縄県緑化種苗協同組合
 株沖縄産業振興センター
 株久米アイランド
 久米商船株

《個人会員》29名

(順不同)

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会について

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会は、沖縄高専の教育・研究活動を側面より支援するために、平成16年4月に設立されました。本協力会は、これまで県内産業界と沖縄高専とのパイプ役を担うために、同校との技術協力を展開しています。今後とも、本協力会へのご理解ご支援をお願いいたします。本協力会への入会につきまして特段のご配慮をお願い申し上げます。なお、本協力会への入会の申込みやお問合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

【お問合せ】

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務所（担当者：嘉数）

所在地：〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地 沖縄工業高等専門学校内

電話：0980-55-0133 FAX：0980-55-4012 E-mail：sangaku@m1.cosmos.ne.jp